

# Studio Manager V2 インストールガイド



## ご注意

- ・ このソフトウェアおよび取扱説明書の著作権はすべてヤマハ株式会社が所有します。
- ・ 巻末にこのソフトウェアのご使用条件が記載されています。このソフトウェアをインストールする前に、必ずこのご使用条件をお読みください。ディスクの包装を解かれた場合は、このソフトウェアのご使用条件に同意したことになります。
- ・ このソフトウェアおよび取扱説明書の一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- ・ 市販の音楽データは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- ・ このソフトウェアおよび取扱説明書を運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・ このソフトウェアのCD-ROM は、オーディオ用ではありません。一般のオーディオ用CDプレーヤーでは絶対に使用しないでください。
- ・ この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、最終仕様と異なる場合がありますのでご了承ください。
- ・ アプリケーションのバージョンアップなどに伴うシステムソフトウェアおよび一部の機能や仕様の変更については、別紙または別冊で対応させていただきます。
- ・ 「MIDI」は社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- ・ その他記載の社名および製品名は、各社の商標および登録商標です。

YAMAHAプロオーディオホームページ：  
<http://proaudio.yamaha.co.jp/>

仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

## 目次

操作の前に.....	2
はじめに.....	2
CD-ROM の内容.....	2
Windows の動作環境条件.....	3
Macintosh の動作環境条件.....	3
本体とコンピューターの接続.....	4
本体の設定.....	4
USB 接続の注意.....	4
Windows へのインストール.....	4
Adobe Reader のインストール.....	4
USB MIDI ドライバーのインストール.....	4
Studio Manager のインストール.....	5
Macintosh へのインストール.....	6
USB MIDI ドライバーのインストール.....	6
Studio Manager のインストール.....	7
基本操作とセットアップ.....	8
Studio Manager とは？.....	8
Studio Manager の起動と設定.....	9
トラブルシューティング.....	10
ソフトウェアのご使用条件.....	11

## 操作の前に

### はじめに

ヤマハStudio Managerを使用して、WindowsまたはMacintoshコンピューターからお使いのコンソール(以下、本体)をコントロールできます。

このインストールガイドではStudio ManagerやWindows/Macintoshコンピューターに必要なドライバーのそれぞれのインストール方法を説明します。Studio Managerや各エディターの操作については、Studio Managerをインストールすると一緒にインストールされるPDF形式のStudio Manager取扱説明書および各エディターの取扱説明書をお読みください。本体の操作方法は各本体の取扱説明書をお読みください。

### CD-ROMの内容

	フォルダ名	ソフトウェア	内容
Windows	SM_¥PM5D_	PM5D 用 Studio Manager (*1)	PM5D 用ヤマハ Studio Manager (Windows 2000/XP 用)
	USBdrv2k_	YAMAHA USB MIDI Driver (Windows 2000, XP)	ヤマハ USB ドライバー (PC と USB 接続する場合に必要)
Macintosh	Mac OS X ¥SM_¥PM5D_	PM5D 用 Studio Manager (*1)	PM5D 用ヤマハ Studio Manager (Mac OS X 用)
	Mac OS X ¥USBdrv_	YAMAHA USB MIDI Driver for OS X	ヤマハ USB ドライバー (Mac と USB 接続する場合に必要)

1. アプリケーションの使用方法については、インストール後にPDFマニュアルをご参照ください。

## Windowsの動作環境条件

お使いのオペレーティングシステムによって、動作環境条件が以下とは異なる場合があります。

### Studio Manager

コンピューター	800 MHz 以上の Intel Pentium または Celeron 系プロセッサ搭載の PC
OS	Windows 2000, XP Home Edition, XP Professional
メモリー	256 MB 以上
ハードディスク	30 MB 以上の空き容量
MIDI ドライバー	USB/MIDI のどれかひとつ (本体とコンピューターの接続方法による)
ディスプレイ	1024 × 768 ピクセル、256 色以上 1280 × 1024, High Color 16 ビット推奨 (ディスプレイ解像度設定が 1024 × 768 の場合、 [スタート → 設定 → タスクバーとスタートメニューのプロパティ] でタスクバーの「自動的に隠す」をオンにしてください。)

### Yamaha USB MIDI Driver

コンピューター	166 MHz 以上の Intel Pentium または Celeron 系プロセッサと USB 端子搭載の PC
OS	Windows 2000, XP Home Edition, XP Professional
メモリー	32 MB 以上
ハードディスク	2 MB 以上の空き容量

上記に記載のない動作環境条件は CD-ROM 上のファイルをご参照ください。

## Macintoshの動作環境条件

お使いのオペレーティングシステムによって、動作環境条件が以下とは異なる場合があります。

### Studio Manager

コンピューター	Macintosh G4 以上、USB 端子搭載
OS	Mac OS X v10.2.8 以上
メモリー	512 MB 以上の空きメモリー
ハードディスク	30 MB 以上の空き容量
ディスプレイ	1024 × 768 ピクセル、256 色以上 1280 × 1024, 32,000 色推奨
MIDI ドライバー	USB/MIDI のどれかひとつ (本体とコンピューターの接続方法による)

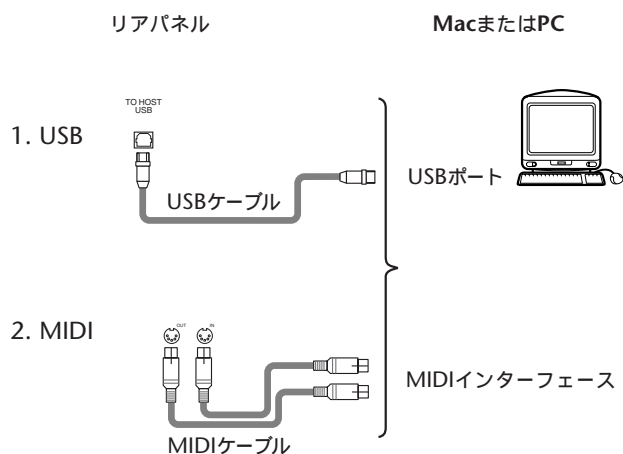
### ヤマハ USB MIDI ドライバー for OS X

コンピューター	PowerPC 以上のプロセッサ、USB 端子搭載の Macintosh コンピューター
OS	Mac OS 10.2 以上
メモリー	64 MB 以上 (推奨: 128 MB 以上)
ハードディスク	2 MB 以上

上記に記載のない動作環境条件は CD-ROM 上のファイルをご参照ください。

## 本体とコンピューターの接続

以下の図は、本体とコンピューターを接続する2つの方法(USB、MIDI)を示したものです。



## 本体の設定

本体画面上で、DISPLAY ACCESS [MIDI/REMOTE]キーを使って、MIDI SETUP画面を表示させます。「PM5D EDITOR」欄で、通信するポートと本体のIDを選択します。

## USB接続の注意

USB TO HOST端子でコンピューターと接続するときは、以下のことを行なってください。以下のことを行なわないと、コンピューターや本体が停止(ハングアップ)して、データが壊れたり、失われたりするおそれがあります。コンピューターや本体が停止したときは、電源を入れ直し、コンピューターを再起動してください。

- ・ USB TO HOST端子でコンピューターと接続する前に、コンピューターの省電力(サスペンド/スリープ/スタンバイ/休止)モードを解除してください。
- ・ 本体の電源を入れる前に、USB TO HOST端子とコンピューターを接続してください。
- ・ 本体の電源オン/オフやUSBケーブルの抜き差しをする前に、すべてのアプリケーションプログラム(Studio Managerなど)を終了させてください。
- ・ 本体の電源オン/オフやUSBケーブルの抜き差しは、3秒以上間隔を空けて行ってください。

## Windowsへのインストール

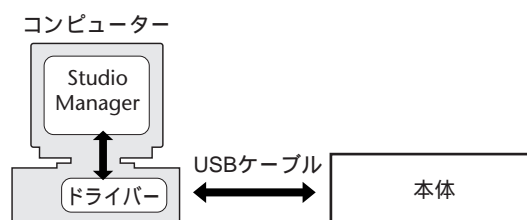
### Adobe Readerのインストール

PDF形式のStudio Manager取扱説明書および各エディターの取扱説明書をご覧になるには、コンピューターにAdobe Reader(無償)がインストールされている必要があります。Adobe Readerをお持ちでない方は、下記URLからAdobe社のページを開き、Adobe Readerをダウンロードしてください。

<http://www.adobe.co.jp>

### USB MIDIドライバーのインストール

本体とコンピューターをUSB接続で使用する場合は、ヤマハUSBドライバーをインストールする必要があります。このドライバーがすでにインストールされている場合は、次のセクションに進んでください。



USBドライバーのインストール手順は、お使いのWindowsのバージョンによって異なります。

- ・ Windows 2000:5ページ参照
- ・ Windows XP:5ページ参照

## Windows 2000

- 1 コンピューターの電源を入れてWindowsを起動し、Administrator権限のあるアカウントでログインします。
- 2 付属のCD-ROMをコンピューターのCD-ROMドライブに挿入します。
- 3 [マイコンピュータ]→[コントロールパネル]→[システム]→[ハードウェア]→[ドライバの署名]→[ファイルの署名の確認]と選択し、「無視 - ファイルの署名に関係なく、すべてのファイルをインストールする」を選択して[OK]をクリックします。
- 4 本体の電源を切り、USBケーブルを使って本体のUSB TO HOST端子と、コンピューターのUSB端子を接続します。
- 5 本体の電源を入れます。  
「新しいハードウェアの検索ウィザード」画面が表示されます。
- 6 [次へ]をクリックします。
- 7 「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、[次へ]をクリックします。
- 8 続いて表示される画面で「CD-ROMドライブ」のみを選択し、[次へ]をクリックします。

ノート: Windows CD-ROMの挿入を求める表示が現れる場合がありますが、CD-ROMを挿入しないでください!!  
[OK]をクリックし、読み込み先を「D:\USBdrv2k\_」(D:は、お使いのCD-ROMドライブのアルファベットに置き換えてください)と入力し、[OK]をクリックしてください。

ドライバーがインストールされ、「新しいハードウェアの検出ウィザードの完了」というメッセージが表示されます。

- 9 [完了]をクリックし、コンピューターを再起動します。

## Windows XP

- 1 コンピューターの電源を入れてWindowsを起動し、Administrator権限のあるアカウントでログインします。
- 2 付属のCD-ROMをコンピューターのCD-ROMドライブに挿入します。
- 3 [スタート]をクリックし、[コントロールパネル]をクリックします。  
以下の画面が表示されます。



- 4 画面左の欄にある「クラシック表示に切り替える」をクリックして、コントロールパネルをすべて表示させます。
- 5 [システム]→[ハードウェア]→[ドライバの署名]→[ドライバ署名オプション]と選択し、「無視 - ソフトウェアをインストールし、確認を求めない(!)」を選択してから[OK]をクリックします。
- 6 [OK]をクリックしてシステムのプロパティ画面を閉じ、[×]をクリックしてコントロールパネル画面を閉じます。
- 7 本体の電源を切り、USBケーブルを使って本体のUSB TO HOST端子と、コンピューターのUSB端子を接続します。
- 8 本体の電源を入れます。  
「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示されます。
- 9 「ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)(!)」を選択し[次へ]をクリックします。  
ドライバーがインストールされ、「新しいハードウェアの検出ウィザードの完了」というメッセージが表示されます。
- 10 [完了]をクリックし、コンピューターを再起動します。

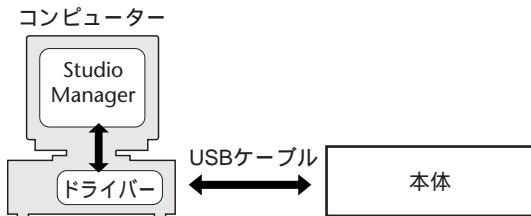
## Studio Managerのインストール

- 1 CD-ROM上の「SM\_」フォルダをダブルクリックします。
- 2 「PM5D\_」フォルダをダブルクリックします。
- 3 「Setup.exe」をダブルクリックします。
- 4 画面の指示に従ってStudio Managerをインストールします。

# Macintoshへのインストール

## USB MIDIドライバーのインストール

本体とコンピュータをUSB接続で使用する場合は、ヤマハUSBドライバーをインストールする必要があります。このドライバーがすでにインストールされている場合は、次のセクションに進んでください。



### Mac OS X

ノート: インストールの前にキーボードとマウス以外のUSB機器はコンピュータから外しておいてください。

- 1 コンピューターを起動して、管理者権限のあるユーザーアカウントでログインします。  
管理者権限があるかどうかは、「システム環境設定」の「ユーザー(アカウント)」項目で確認できます。
- 2 CD-ROM上の「Mac OS X」フォルダをダブルクリックします。
- 3 「USBdrv\_」フォルダをダブルクリックします。
- 4 「USB-MIDI Driver v1.\*\*\*\*\*.mpkg」(\*\*\*\*\*にはバージョン番号が入ります)をダブルクリックします。  
パスワードの入力を求める「認証」ウィンドウが表示されます。  
パスワードを聞かれない場合は、カギのアイコンをクリックします。



- 5 管理者権限を持つユーザーのパスワードを入力します。パスワードを設定していない場合はそのまま「OK」をクリックします。  
「ようこそYAMAHA USB MIDI Driver インストールへ」と表示されます。



- 6 [続ける]をクリックします。  
「インストール先を選択」と表示されます。



- 7 ドライバーのインストール先を選択し、[続ける]をクリックします。  
「インストールには、約100MBのディスク容量が必要です。」と表示される場合がありますが、実際に必要なディスク容量は、3ページにあるとおりです。

- 8 「"インストール"をクリックして、このソフトウェアパッケージの基本インストールを行います」と表示されますので、[インストール]ボタンをクリックします。既にインストールされている場合、[インストール]ボタンは、[アップグレード]ボタンになります。インストールが終わると、「ソフトウェアが正常にインストールされました」と表示されます。



- 9 [閉じる]ボタンをクリックします。これで、ドライバーのインストールは完了しました。また、以下の場所にドライバーがインストールされているのを確認することができます。
- ・「ライブラリ(Library)」:「Audio」:「MIDI Drivers」:  
「YAMAHA-USBMIDI Driver.plugin」
  - ・「ライブラリ(Library)」:「PreferencePanels」:  
「YAMAHA-USBMIDIPatch.prefPane」

## Studio Managerのインストール

- 1 CD-ROM上の「Mac OS X」フォルダをダブルクリックします。
- 2 「SM\_」フォルダをダブルクリックします。
- 3 「PM5D\_」フォルダをダブルクリックします。
- 4 「Install Studio Manager」をダブルクリックします。画面の指示に従ってインストールを進めると、以下の画面が表示されます。



- 5 [カスタマイズ]をクリックします。

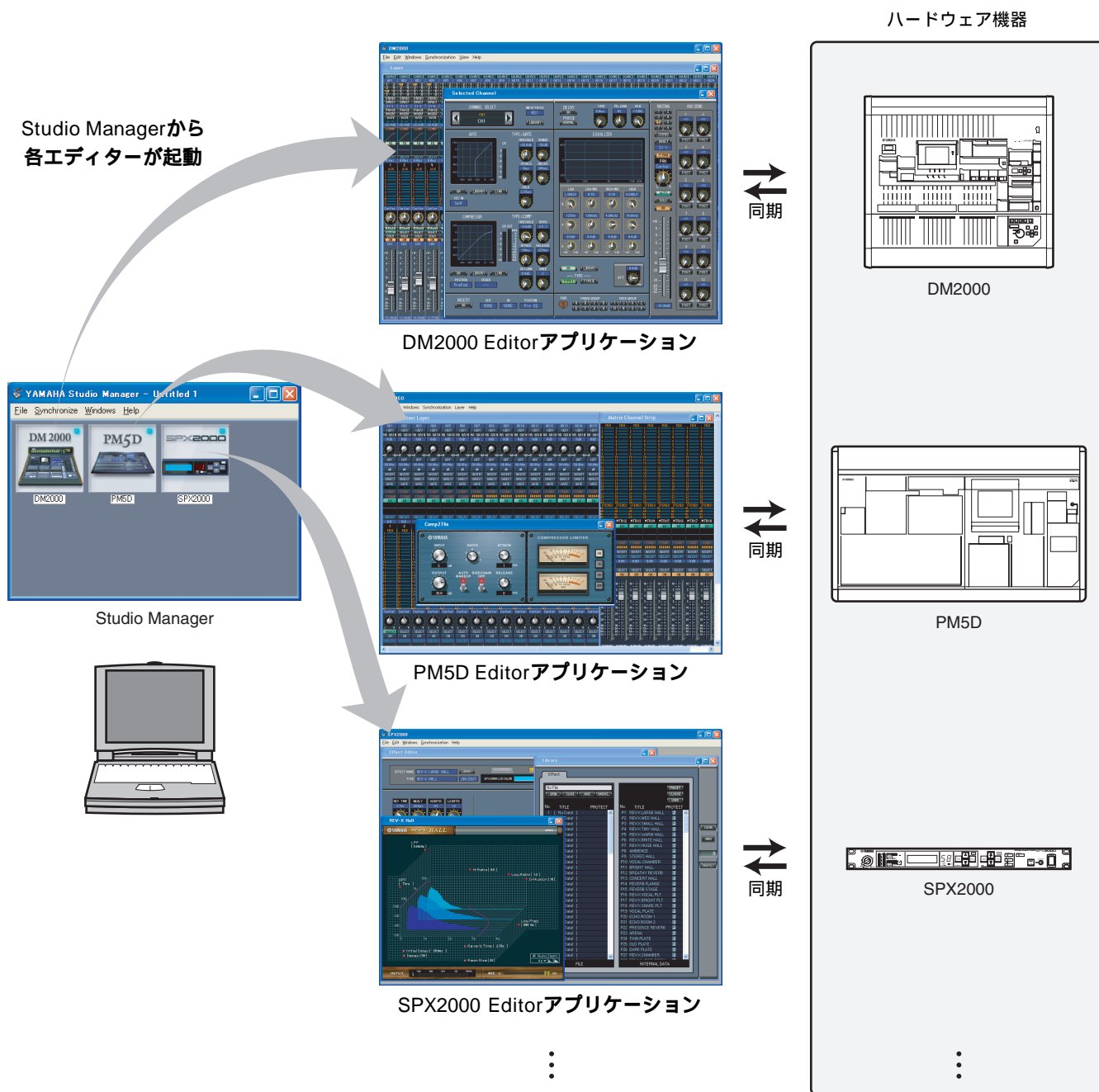
ノート: [カスタマイズ]を選択しないと、各エディターと英語のPDFマニュアルだけがインストールされます。

- 6 お使いの本体と言語を選択します。
  - ・ お使いの本体に対応したエディター
  - ・ ご希望のPDFマニュアルの言語 (Japanese)
- 7 [インストール]をクリックします。
- 8 画面の指示に従ってソフトウェアをインストールします。

# 基本操作とセットアップ

## Studio Managerとは？

Studio Managerは、ヤマハのハードウェア製品をリモートコントロールする複数のエディターソフトウェアを起動させたり、複数のエディター設定を保存したりする共通のプラットフォームです。



各エディターの設定は、Studio Managerでまとめて保存/呼び出しできます。すなわち、複数の機器の設定をStudio Managerからまとめて呼び出す(リコール)ことにより、システム全体の設定を簡単な操作で変更することができます。この機能をトータルリコールと呼びます。

また、設定ファイルを保存したり機器と同期をとったりする場合、Studio Managerから操作すれば複数の機器をまとめてリコール、各エディターで操作すればその機器だけをリコール、と使い分けることもできます。



# Studio Managerの起動と設定

Studio Managerで各エディターを使用するためには、以下のセットアップが必要です。

## 1 Studio Managerを起動します。

Windows 2000/XP: [スタート] ボタンをクリックした後、[プログラム (すべてのプログラム)] [YAMAHA Studio Manager]の順にマウスカーソルを合わせ、[Studio Manager]をクリックします。

MacOS X: 「Applications」「YAMAHA」「Studio Manager」の順にフォルダーを開き、「SM2」をダブルクリックします。

## 2 Studio Managerのセットアップを行ないます。

詳しくはPDF形式のStudio Manager取扱説明書をご参照ください。

## 3 各エディターを起動します。

Studio Managerウィンドウで各エディターに対応するアイコンをダブルクリックしてください。



Studio Managerウィンドウ

## 4 各エディターのセットアップを行ないます。

詳しくはPDF形式の各エディター取扱説明書をご参照ください。

## 5 各エディターと機器を同期させます。

詳しくはPDF形式の各エディター取扱説明書をご参照ください。

## トラブルシューティング

### Q: Studio Managerをインストールできない

A: Studio Managerの動作環境をご確認ください(3ページ)。動作環境に対応していないOSの場合は、インストールできないようになっています。

### Q: 本体とUSBで通信できない

A: ヤマハUSB MIDIドライバーがインストールされていますか?(Windows 4ページ, Mac 6ページ)

A: USBケーブルが正しく接続されていますか?(4ページ)

A: 本体が正しく設定されていますか?(4ページ)

A: 各エディターが正しいIIDに設定されていますか(各エディターの取扱説明書)

A: 本体とコンピューターの間にはUSBハブがある場合は、本体とコンピューターを直接つないでください

### Q: ヤマハUSB MIDドライバーをインストールできない

A: USBケーブルが正しく接続されていますか?(4ページ)

A: USBケーブルを一度外してからまた接続してみてください。

A: Windows: USBが有効になっていますか?

本体を初めてコンピューターに接続した場合、「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されないときは、コンピューターのUSBコントロールが無効になっていることがあります。これを確認するには、「システム」コントロールパネルを開き、「デバイスマネージャ」タブをクリックして、「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」と「USBルートハブ」の項目の先頭に「×」印または「！」印が表示されているかをチェックしてください。印があると、USBコントローラは無効になっています。USBコントローラを有効にする方法は、コンピューターの説明書をご参照ください。

A: Windows: 何らかの理由でヤマハUSBドライバーのインストールに失敗すると、本体が「不明なデバイス」として登録され、この登録を削除するまではドライバーの再インストールができないことがあります。この場合は、「システム」コントロールパネルを開き、「デバイスマネージャ」タブをクリックして「種類別に表示」を選択します。リストに「その他のデバイス」という項目があれば、これをクリックします。その下に「不明なデバイス」という項目があれば、「削除」ボタンをクリックします。USBケーブルの接続を外し、再度接続してドライバーをもう一度インストールしてください。

### Q: ヤマハUSB MIDIドライバーの削除と再インストール

A: Mac OS X: 以下のファイルを削除すると、ドライバーが削除されます。削除後、コンピューターを再起動しドライバーを再インストールします。

~:「ライブラリ」、「Preferences」、「jp.co.yamaha.USBMIDDriver.plist」(ドライバーロード後に作成されます)

「ライブラリ」、「Audio」、「MIDI Drivers」、「YAMAHAUSBMIDDriver.plugin」

「ライブラリ」、「PreferencePanels」、「YAMAHAUSBMIDIPatch.prefPane」

NOTE:「~」は、ハードディスクにある「ユーザ(Users)」内の、各ユーザー用フォルダを示しています。

NOTE: ドライバーを削除することができるのはルートユーザーだけです。通常のユーザーには削除する権限がありません。

### Q: 正しく動作しない

A: コンピューターが応答しない場合は、システム条件を満たしているかチェックしてください(3ページ)。

A: 使用していないアプリケーションを終了してください。

### Q: 新しいエディターをインストールしたら、別のエディターが起動しなくなった。

A: Studio Managerや各エディターのバージョンの組み合わせによっては、エディターが起動できない場合があります。ウェブサイトで最新版をダウンロードして、すべてのエディターを最新版にインストールしなおしてください。  
<http://proaudio.yamaha.co.jp/>

### Q: コンピューターの休止/再開ができない

A: Windows: MIDIアプリケーションが開いている場合、休止にはなりません。

A: Windows 2000: USBコントローラなどによっては休止/再開が正しく機能しないものがあります。本体が応答しなくなったら、USBケーブルの接続を一旦外し、もう一度接続してみてください。

## ソフトウェアのご使用条件

弊社では本ソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについて、<ソフトウェア使用許諾契約>を設けさせていただいており、お客様が下記条項にご同意いただいた場合にのみご使用いただけます。

ディスクの包装を解かれた場合は下記条項にご同意いただけたものとさせていただきますので、下記条項を充分お読みの上開封してください。

ご同意いただけない場合は、未開封のまま速やかに(14日以内に)ご返却ください(ただし、本ソフトウェアをソフトウェアパッケージの一部として、またはハードウェア商品の付属ソフトウェアとしてお求めいただいた場合、本ソフトのみの返却はお受けいたしません)。

### ソフトウェア使用許諾契約

#### 1 著作権および使用許諾

弊社はお客様に対し、本ソフトウェアを構成するプログラム、データファイルおよび今後お客様に一定の条件付きで配布され得るそれらのバージョンアッププログラム、データファイル(以下「許諾プログラム」といいます)を、お客様ご自身が一時に一台のコンピューターにおいてのみ使用する権利を許諾します。これらの許諾プログラムが記録されているディスクの所有権は、お客様にあります。許諾プログラム自体の権利およびその著作権は、弊社が有します。

#### 2 使用制限

許諾プログラムは著作権を持つ情報を含んでいますので、その保護のため、お客様が許諾プログラムを逆コンパイル、逆アセンブル、リバース・エンジニアリング、またはその他の方法により、人間が感得できる形にすることは許されません。許諾プログラムの全体または一部を複製、修正、改変、賃貸、リース、転売、頒布または許諾プログラムの内容に基づいて二次的著作物をつくることは許されません。許諾プログラムをネットワークを通して別のコンピューターに伝送することも許されません。

#### 3 終了

本使用条件はお客様が許諾プログラムをお受け取りになった日に発効します。本使用条件による使用許諾は、お客様が著作権法または本使用条件の条項に1つでも違反されたときは、弊社からの終了通知がなくても自動的に終了するものとします。その場合には、ただちに許諾プログラムとその複製をすべて廃棄しなければなりません。

#### 4 製品の保証

弊社は、お客様が許諾プログラムをお受け取りになった日から14日間に限り、媒体に物理的な欠陥があった場合には、その原因が事故、乱用、誤用など弊社の責に帰さない事由による場合を除き、無償で同種の良品と交換させていただきます。

#### 5 責任の制限

弊社は、許諾プログラムの使用、またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害(データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む)については、通常もしくはは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生や第三者からの賠償請求の可能性があることについて予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。

#### 6 第三者のソフトウェア

弊社は、本ソフトウェアとともに、第三者のプログラム、データファイルおよびそれに関するドキュメンテーション(以下「第三者ソフトウェア」といいます)を提供する場合があります。別の規定に従い取り扱われるべき旨の記載が、本ソフトウェア付随のマニュアルに記載されている場合には、本使用条件にかかわらず、その別の規定に従い取り扱われるものとし、弊社によるアフターサービスおよび保証などについては、以下の規定が適用されるものとします。

弊社は、第三者ソフトウェアに関しての操作方法、瑕疵その他に関してアフターサービスを提供するものではありません。

弊社は、第三者ソフトウェアの商品性、および特定目的に対する適合性の保証その他一切の保証を、明示であると黙示であると問わず、一切いたしません。第三者ソフトウェアの使用もしくは機能から生じるすべての危険は、お客様が負担しなければなりません。

弊社は、第三者ソフトウェアの使用、またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害(データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む)については、通常もしくはは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生があることについて予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。

#### 7 一般事項

本契約は、日本法の適用を受け、日本法に基づいて解釈されるものとします。



この取扱説明書は  
大豆油インクで印刷しています。

この取扱説明書は無塩素紙 (ECF: 無塩素系漂白パルプ) を使用しています。  
この取扱説明書は再生紙を使用しています。

ヤマハマニュアルライブラリー  
<http://www2.yamaha.co.jp/manual/japan/>

U.R.G., Pro Audio & Digital Musical Instrument Division, Yamaha Corporation  
© 2004 Yamaha Corporation

WE43510 4081PAPxx.x-01A0  
Printed in Japan